

Local Climate
Change Adaptation Center
in Nagasaki Prefecture

長崎県気候変動適応センター

気候変動への 《適応》



緩和とは？

原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応とは？

影響に備える



緩和策の例

- 節電・省エネ (Light bulb icon)
- エコカーの普及 (Bicycle and car icons)
- 再生可能エネルギーの活用 (Solar panel and wind turbine icons)
- 森林を増やす (Tree icon)
- 温室効果ガスを減らす (CO₂ cloud icon)

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意 (Mosquito icon)
- 熱中症予防 (Sun and hat icons)
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培 (Apple and orange icons)
- 水利用の工夫 (Water tap icon)
- 災害に備える (Dam and house icons)



出典:A-Plat

気候変動には「緩和」と「適応」の対策が必要です！

長崎県気候変動適応センター（長崎県環境保健研究センター内）

〒856-0026 長崎県大村市池田 2-1306-11

TEL.0957-48-7560 FAX.0957-48-7570

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/>



HP

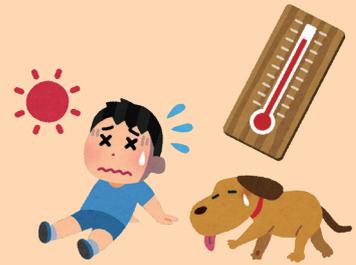
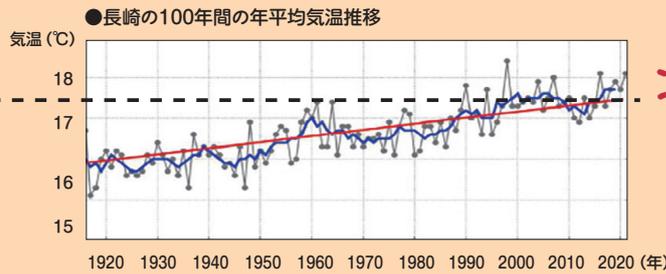


Twitter

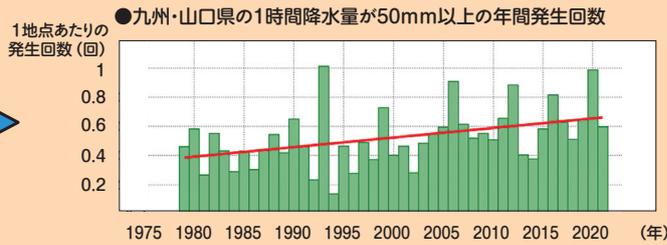
気候変動の影響

気温の上昇と降水量 ●長崎県でも気候変動の影響が出てきています。

長崎の年間の平均気温は
**100年間で
1.5℃上昇**



短時間強雨の発生回数が
**40年間で
1.5倍増加**



※1975～1988年の10年間と2012～2021年の10年間の平均回数の比較

出典：日本の気候変動2020(文部科学省・気象庁)
九州・山口県気候変動監視レポート2021(福岡管区気象台)

私たちにできる適応策

●熱中症を予防しよう!

地球温暖化が進み、気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。



●自然災害にそなえよう!

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。災害にそなえるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。



長崎県気候変動適応センターの取り組み

●長崎県気候変動適応センターでは、気候変動への「適応」について、県内の様々な場所で活動しています。

主な取り組み

ホームページやSNSでの情報発信 / 研修会・セミナーの開催 / 環境イベントでのブース出展 / 中高生を対象とした勉強会 / etc.

